

「かがやく交野」市議会ニュース

No. 12

発行人：久保田哲 交野市星田1丁目23-9 電話：072-894-0789 発行日：令和元年夏号

くぼた
哲

「逃げず、ブレず、真っ直ぐに」をモットーに 市民生活を守り、多くの皆様の お声の実現にむけて行動します。

私たちを取り巻く環境と社会構造は、少子高齢化・人口減少・労働力減少など、大きく変化しています。

交野市においても例外ではなく、少子化・労働力の低下は顕著であり、市民サービスのあり方や社会保障の内容も大きく変動していくかもしれません。

こうした中、皆様のお力添えを賜り、市議会にお送りいただき2期8年の間、市民サービスの維持向上にむけて、常に「逃げず、ブレず、真っ直ぐに」を

モットーに取り組み、市民生活を守り、多くの皆様の「お声」を「実現」することができました。

これからも引き続き、

皆様の「お声」の「実現」に向けて、
しっかりと頑張っていきます。

くぼた哲のプロフィール

昭和50年1月 西宮市生まれ
平成10年3月 近畿大学法学部卒業
平成10年4月 三田工業(株)入社（現：京セラ(株)）
平成12年8月 平野博文衆議院議員秘書（10年6ヶ月）
平成23年9月 交野市議会議員に初当選
平成27年9月 交野市議会 2期目 当選
平成27年10月 交野市議会 副議長
血液型：A型／身長：177cm／体重：75kg
趣味：野球／好きな食べ物：鍋料理・豆腐

今後の取り組み

まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 賑わいと公共交通の再編成 星田北・星田駅北まちづくりの更なる推進 みんなが活用できる公共交通の再構築
福祉	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心して住める街 手話言語条例の制定を実現 障がいのある方の社会参加を推進
教育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが笑顔あふれる教育環境の整備 教職員の多忙化解消にむけて、現場の声を市政に反映
財政	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の再配置の実施 老朽化による本庁移転の実施にむけての取り組み
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 被害を最小限にするため、社会基盤の整備 老朽化による雨水管の再構築・整備の実施



ご意見・ご要望や市政相談は、お気軽にくぼた哲までお寄せください。 <http://s-kubota.jp>

自宅：〒576-0016 交野市星田1丁目23-9 電話・Fax：(072) 894-0789 メールアドレス：s-kubota@s-kubota.jp

この「かがやく交野」市議会ニュースは政務調査活動の資料として使用させていただいている。

くぼた 哲 検索

公共施設等再配置について

本市が抱えている大きな政策課題のトップに、公共施設の再配置があります。理由は、多くの公共施設の老朽化が著しく、人口減少や少子化に対して、適正な公共施設を再配置する必要があるからです。また、すべての公共施設を建て替えることは、財政運営上、現実的に不可能だからです。中でも小中学校の校舎の老朽化は、「米100俵の精神」ではありませんが、児童・生徒の教育環境に大きく影響することを考え、財政的に厳しくても優先的に取り組むことが必要です。

さらに本庁の老朽化は著しく、大災害発生時に本庁の持つ役割を十分に果たせない施設になっています。本庁の移転先は現在、審議会などで議論していますが、早急な対応と市民の皆さんに親しみを感じてもらえる庁舎のあり方が求められています。

言うだけではなく、 地元課題を「解決できる」ことが大事

藤が尾小学校の横に今年ショッピングモールがオープンしました。地域周辺の方々で連日の盛況ぶりです。



整備が行われた藤が尾小学校横の道路

藤が尾小学校の裏手にある未舗装の道路が、ショッピングモールができたことで、大きな生活道路に変身しました

た。未舗装の道路で躓き、道路横の溝に転落、夜は街灯がなく危険等、緊急に市当局に調査の実態と改善策を要望しました。市当局の素早い対応で、道路補修・街灯・安全柵が設置され、皆さん安心して買い物できる環境を整備することができました。

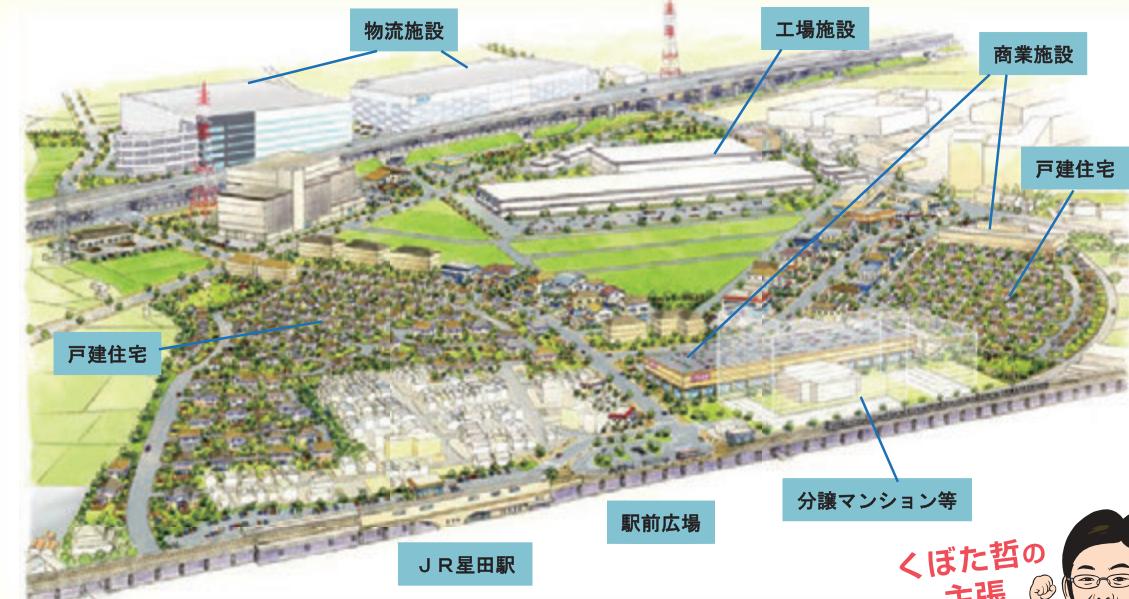
議員にとって課題の提起も大事ですが、市当局と共に解決できることこそ、議員の責務と考えています。

交野市議会議員 くぼた哲



星田北エリアのまちづくり～第二京阪道路沿道まちづくり～

コンパクトシティへのリーディング・ゾーン（星田北地区及び星田駅北地区土地区画整理事業）



星田北エリアのまちづくりについては、①人口減少・超高齢化社会到来・社会保障費の増大、②地権者の皆さまを取り巻く環境の変化や後継者不足による営農環境の変化、③JR星田駅の近くで、第二京阪道路供用開始による新たな「まちづくり」への期待、などの社会情勢の変動を受け、星田北地区におけるボ

テンシャルを一層高めていくことが、地権者の皆さまをはじめ、交野市にとって大きな意味があります。

この区画整理事業が私たちにとって大きな利益をもたらす事業になるように、しっかりと支援していきたいと考えています。

星田北地区 (交野市・枚方市)

- ①面 積 約20.2ha
- ②地 権 者 数 109名、同意率 97%
- ③業務代行者 (株)大林組
- ④土 地 利 用 物流施設、農地 他
- ⑤経 過 H27.9 準備組合設立
H30.3.28 都市計画決定
H30.7.31 組合設立認可
H31.4.1 仮換地指定
R 3.3 まちびらき予定

星田駅北地区

- ①面 積 約26.4ha
- ②地 権 者 数 211名、賛同率 約91%
- ③業務代行者 戸田建設(株)
- ④土 地 利 用 戸建住宅、中高層マンション、商業施設等
- ⑤経 過 H28.9 準備組合設立
H30.3.28 都市計画決定
H30.9.13 組合設立認可
R 1.6.15 仮換地指定
R 4.3 まちびらき予定

6月議会で唐突に提出された「交野市火葬料補助金交付条例」に対する見解

交野市では他市でお世話になっている火葬費が値上げされたのを受けて、その費用の一部を本市が補助することを要望する意見書です。議論を過去にされた経過はあるようですが、社会情勢が日々変動する中で、この任期で議会において議論されたことはあ

りません。内容的に費用負担の財源も提示されておらず、議会における議論を今後していく必要があります。表題だけを見れば賛成する内容ですが、いきなり賛否を問う姿勢に対して、責任ある議会の対応を考えたとき、安易に賛成することはできません。